



THAILAND ECONOMIC UPDATE

July 2023

ศูนย์วิจัยกสิกรไทย
KASIKORN RESEARCH CENTER

5月のタイ景気は緩やかな回復基調

▶ 要点

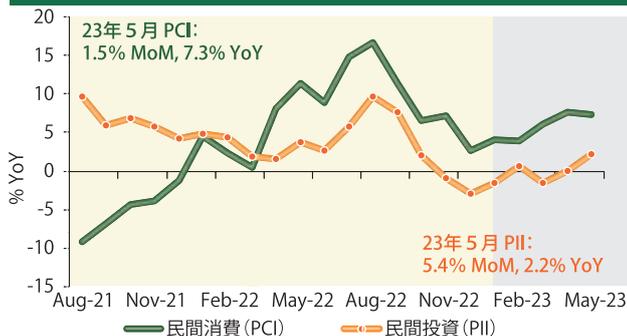
- ▶ 2023年5月のタイ経済は緩やかな回復基調になりました。輸出停滞の要因で製造業の生産を下押ししています。一方で、タイを訪れる外国人旅行者の回復と下院総選挙関連のイベントを背景に、サービス部門などの個人消費が改善しています。
- ▶ 2023年6月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.23%上昇しましたが、過去22ヶ月間で最低水準にあります。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比1.32%増と、前月からさらに減速がみられます。
- ▶ カシコンリサーチセンターは、2023年のタイ国内の鉄鋼価格（線・板形状）が前年比6～10%下落すると予測します。中国の鉄鋼需要縮小による世界的な鉄鋼価格の下落などが理由に挙げられます。加えて、タイでは生活費の上昇や政治の先行き不透明感などにより、民間の鉄鋼消費削減、政府事業の延期・遅延が起き、国内需要も低調に推移する見通しです。
- ▶ このほか、中国で供給過多となった鉄のタイなど諸外国への流入や、中国とマレーシアの熱延鋼板に対する反ダンピング（AD）税を継続するかどうかなどが懸念材料となります。

▶ タイ経済の動向

2023年5月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2023年5月の重要な経済指標によると、タイ経済は緩やかな回復基調になりました。輸出が引き続き収縮したことにより、製造業の生産を下押ししています。一方で、タイを訪れる外国人旅行者の回復と下院総選挙関連のイベントを背景に、サービス部門などの個人消費が改善しています。

図1：民間消費と民間投資



出所：BoT, Ministry of Industry, Ministry of Tourism and Sports

図2：輸出、工業生産と外国人観光客数



備考：YoY=前年比；MoM=前月比

5月の民間消費は前年同月比7.3%増と前月に引き続き拡大しています。なかでもサービスが19.0%増と全体をけん引しました。このほか、耐久消費財は7.9%、非耐久消費財が4.5%、半耐久消費財が1.4%の拡大となりました。下院総選挙関連のイベントなどが好影響を与えています。

一方で、民間投資は前年同月比2.2%増となりました。機械・設備を中心とした資本財の輸入が13.8%増と全体をけん引しましたが、商用車の販売は16.5%減となっています。

5月の輸出は前年同月比5.9%減の241億米ドルとなりました。輸出は主な仕向け地で需要が停滞していることから悪化が続いています。しかし、自動車や家電製品、農産品で回復が見られました。

工業生産に関しては前年同月比3.1%縮小しました。輸出の落ち込みが製造業の業績を下押ししています。一方で、タイを訪れる外国人の増加で、観光業を中心にサービス業と消費が活発になっています。

図3：インフレ率

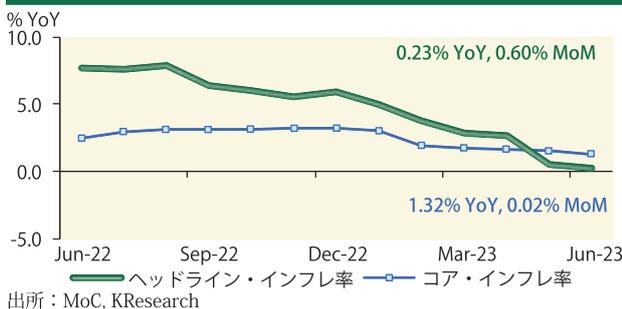
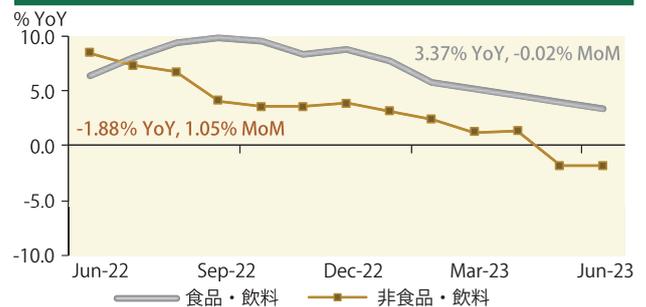


図4：食品・飲料と非食品・飲料の物価



商務省が発表した2023年6月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.23%上昇したものの、過去22ヶ月間で最低水準になりました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比1.32%増と、前月からさらに減速がみられています。

食品・飲料部門は3.37%上昇しました。果物・野菜が15.77%と最も上昇率が高まりました。それ以外では卵・乳製品が8.87%、米・粉製品が2.98%、魚類が2.57%、ノンアルコール飲料が4.25%の上昇となっています。

2023年のタイ国内の鉄鋼価格が前年比6～10%減の見通し

カシコンリサーチセンターは、2023年のタイ国内の鉄鋼価格（線・板形状）が前年比6～10%下落すると予測します。中国の鉄鋼需要縮小による世界的な鉄鋼価格の下落などが理由に挙げられます。加えて、タイでは生活費の上昇や政治の先行き不透明感などにより、民間の鉄鋼消費削減、政府事業の延期・遅延が起き、国内需要も低調に推移する見通しです。

一方で、鉄鋼価格は年末に向けて下落が続くものの、新型コロナウイルス感染症流行前の水準は上回ると予測します。電気料金や労務費、輸送費が上昇し、生産・管理費が膨らんでいるためです。線・板形状の価格とも、コロナ前の2019年は1トン当たり約2万パーツだったものが、2023年の予測は線が2万パーツ超、板が約3万パーツとなる見通しです。

このほか、中国で供給過多となった鉄のタイなど諸外国への流入や、中国とマレーシアの熱延鋼板に対する反ダンピング（AD）税を継続するかどうかなどが懸念材料となります。

監修：カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。

www.kasikornbank.com
K-Contact Center 02-8888888



KBank Live



KBank Live



KBank Live



KBank Live

บริการทุกระดับประทับใจ